

## 弥生初期水田に関する総合的研究 —文理融合研究の新展開—

科学研究費基盤研究（A）（一般）「弥生初期水田に関する総合的研究—文理融合研究の新展開—」（課題番号：16H01961）では、橿原考古学研究所が発掘調査を実施する奈良県御所市中西遺跡・秋津遺跡の弥生時代前期水田を主要なフィールドとし、農学、水文学、遺伝学、気象学、生態学、植生学、土壌学などの方法と考古学との協業により、日本に水田稲作が導入された初期水田とその周辺環境の総合的解析、それに基づくイネ生産力の正確な復元を目的とする研究を進めている。

本シンポジウムでは、これまでの研究成果の一端を紹介するとともに、他地域の異なる環境条件のもとに定着した初期水田農耕とを比較すべく、韓国、ベトナムの研究者にそれぞれの地域における研究の最前線を披露してもらうことにより、日本列島をはじめとする各地の初期水田の特質を具体的に究明することを目指す。

なお、本シンポジウムは奈良県立橿原考古学研究所創立80周年記念事業の一環として実施します。

日 時： 2019 年 3 月 2 日（土）  
10:00～17:00（9:30開場）

場 所： 奈良県立橿原考古学研究所  
1 階 講 堂  
（近鉄畷傍御陵前駅より徒歩5分）

対 象： 一般、申込不要、参加費無料



### プログラム：

9:30	開 場
10:00～10:10	開会挨拶
10:10～10:20	趣旨説明 本村充保（奈良県立橿原考古学研究所）
10:20～11:00	講演① 「日本列島における水田稲作の導入と定着」 岡田憲一（奈良県立橿原考古学研究所）
11:00～12:00	講演② 「韓国青銅器時代の水田・畠農耕」※ 尹昊弼（東洋文物研究院、韓国）
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～13:40	講演③ 「環境考古学分析よりみる中国初期農耕と弥生初期水田」 金原正明（奈良教育大学）
13:40～14:40	講演④ 「ベトナムにおける先史時代遺跡出土の稲／米」※ グエン・ティ・マイ・フオン（ハノイ考古学院、ベトナム）
14:40～14:50	休 憩
14:50～15:30	講演⑤ 「農学的観点よりみる弥生初期水田の特徴」 稲村達也（京都大学大学院農学研究科）
15:30～16:50	パネルディスカッション ※
16:50～17:00	閉会挨拶

（※：日本語通訳あり）

主催・問い合わせ： 奈良県立橿原考古学研究所（Tel:0744-24-1101, Fax:0744-24-6747）

担 当： 本村充保・岡田憲一・絹 嶋 歩